NIE実践報告

1．タイトル：新聞記事を通していじめについて考える

2．学校名

上越市立高田西小学校

3．実践者名（代表者名）

徳留　信登

4．学年

６学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

道徳　３５名

6．単元（本時の学習課題）名

いじめに背を向けるな

7．目標(狙い)

いじめられている人のために勇気を出して行動しようとする態度を育てる。

8．評価の視点

いじめを止めるために自分ができることを考える。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「道徳」の時間に位置付けて実施した。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

（1）投稿記事「ひどくなっているいじめを止めたい」を読み、いじめの実態を把握する。
（2）悩んでいるMAYAさんは今後、どのような行動をとるべきか考え、ワークシートに書き込む。
（3）全体で意見を交流する。
（4）学級のいじめアンケートの結果から、いじめられるかもしれないという恐怖感を克服するためには何ができるかを考える。
（5）小グループごとに、いじめられるかもしれない怖さの中でも、これならできるという方法を考える。
（6）グループごとに話し合った結果を発表する。
（7）投稿記事「いじめをして何が楽しいの」から、いじめが起きた際に動き出すことの大切さを理解し、感想を書く。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

班のみんなが発表していることを、最初は「そんなの怖くてできない」と思っていました。でも、話を聞いているうちに「なんか私にもやれそう」と少し思いました。他の班の発表も聞くと、できそうなことがあったので、もしいじめられている人がいたらそれをやってみたいと思います。今日の学習では、少し自分が変わっ

12．成果と課題

・投稿記事を教材としたことにより、いじめを現実に起きている出来事と捉え、真剣に考える姿が見られた。
・投稿記事の提示だけでなく、事前にとったアンケートの提示が葛藤を生み、自分の弱さと向き合い、自分ができることを模索する姿が見られた。
・投稿記事は掲載されている字数が限られているため、いじめの実態、背景、登場人物の関係性、その場での会話などが捉えにくく、いじめの実態を詳細に知ることが難しかった。